



地域幸福度（Well-Being）指標を活用したデジタル・スマートシティの推進 ～官民共創型のアプローチ～

Digital Smart City HAMAMATSU

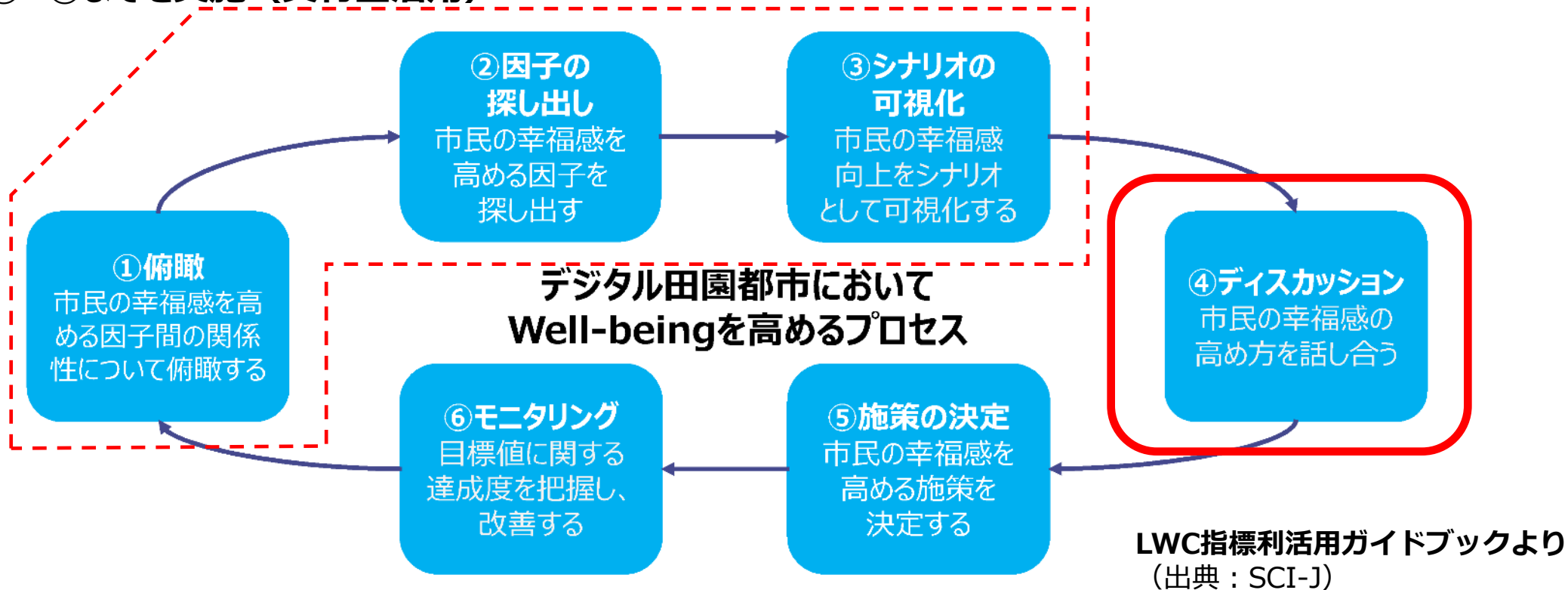


デジタル・スマートシティ推進課長 瀧本 陽一



Well-Being指標の活用プロセス

令和4年度に①～③までを実施（交付金活用）



- プロセス①：R4.11 Web市民アンケートを実施（指標測定）、1,805サンプル回収・分析
プロセス②：R5.1 アンケート分析結果を庁内共有。浜松市民の幸福感と相関の高い因子を確認
プロセス③：R5.1～3 各分野においてシナリオ作成・公開

プロセス④以降：

官民連携組織等において活用し、官民で市民の幸福感を高めていく。

交通／モビリティ分野においては、モビリティコンソーシアムにてワークショップを開催。

Well-Being指標を先行的に活用する4分野

選定の観点

- ◎ 市民の幸福度向上への寄与度
- ◎ デジタル・スマートシティの取組方針との親和性

ウェルネス分野



市民がいつまでも健康で幸せに暮らせる「予防・健幸都市」の実現を目指し、官民で取組を推進。



カーボンニュートラル／エネルギー分野



再生可能エネルギー導入容量日本一の特徴を活かし、産学官金によるプラットフォームを形成し、様々なスマートプロジェクトを推進。



交通／モビリティ分野



広大な市域や自動車産業が盛んな都市の特徴を活かした取組を推進。



スタートアップ分野



スタートアップと地域のものづくり企業との融合による新産業の創出を目指す。

スタートアップのアイデア



ものづくり企業の技術

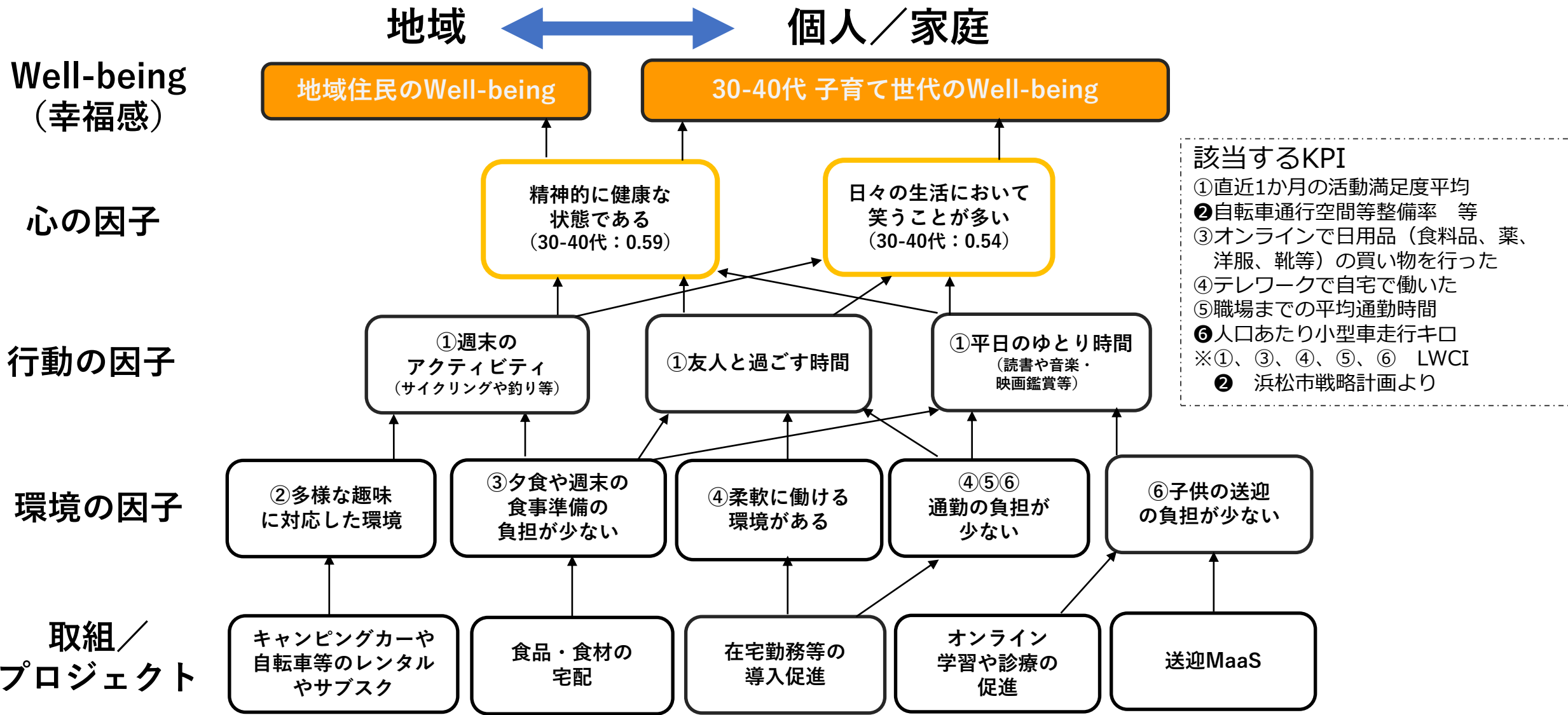
革新的なイノベーションの創出

交通／モビリティ分野におけるシナリオ（R4年度に市で作成）

市民像	設定した市民像における Well-being向上に向けた主テーマ	主テーマ設定の理由
30-40代	① 子育て世代	家庭と仕事の両立で自分の時間の確保が難しい中で、自分の時間を持つことが、心のゆとりや幸福感の向上に繋がると考えられるため
	② 子育て世代 (未就学児を持つ親)	就学前の時期は子どもの成長も早く、この時期において家族と過ごす時間を持つことが幸福感の向上につながると考えられるため
	③ 子育て世代 (就学児を持つ親)	安全・安心
④ 20-60代： 通勤者	通勤時間の削減と通勤への付加価値	通勤時間の削減や、通勤自体に健康増進や読書など付加価値をつけることが幸福感の向上に繋がると考えられるため
⑤ 70-80代： 免許返納者	自立と繋がり	免許返納後においても、自由な移動や自立した生活、社会との繋がりを持つことが幸福感の向上に繋がると考えられるため

交通／モビリティ分野 シナリオ①

市民像：30-40代 子育て世代
主テーマ：自分時間の確保



該当するKPI

- ①直近1か月の活動満足度平均
- ②自転車通行空間等整備率 等
- ③オンラインで日用品（食料品、薬、洋服、靴等）の買い物を行った
- ④テレワークで自宅で働いた
- ⑤職場までの平均通勤時間
- ⑥人口あたり小型車走行キロ

※①、③、④、⑤、⑥ LWCI
② 浜松市戦略計画より

浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムでのWS開催

第1回（4/25）：設定した市民像のWell-Being向上に繋がる要素や主テーマを考える

■ グループワーク①

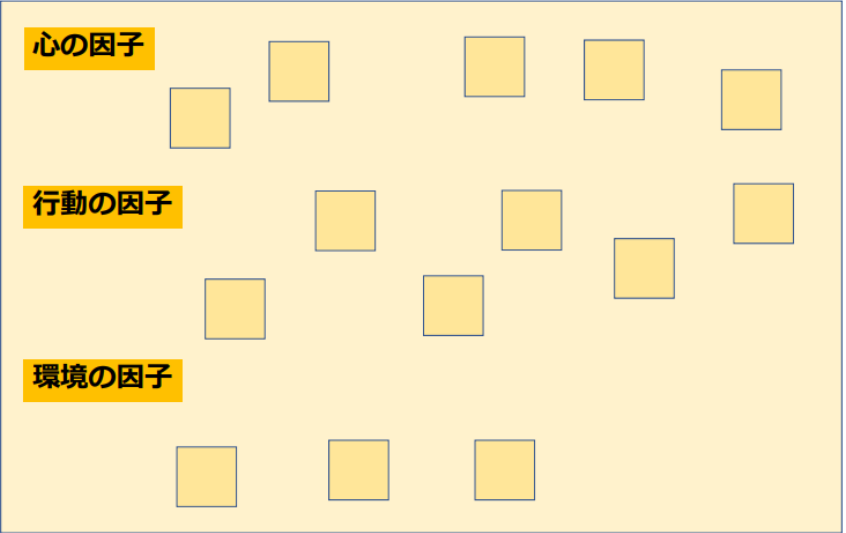
テーマ1
【発散】

設定した市民像のWell-Being向上に繋がる要素を考える

■ グループワーク②

テーマ2
【収束】

Well-Being向上に繋がる要素を3つの因子に分類し、主テーマを決める



第2回 (7/3) : Well-Beingドリブンでサービス創出を検討

■ グループワーク①

テーマ1
【発散】

設定した市民像のWell-Beingを向上する
サービスを検討

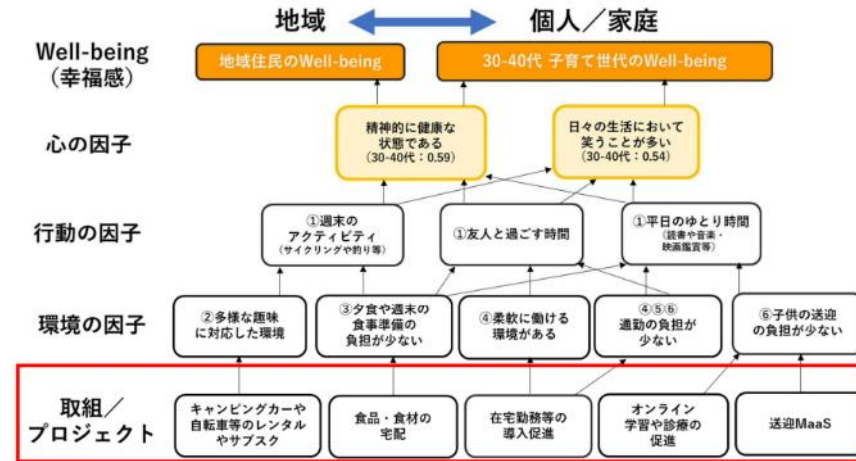
■ グループワーク②

テーマ2
【収束】

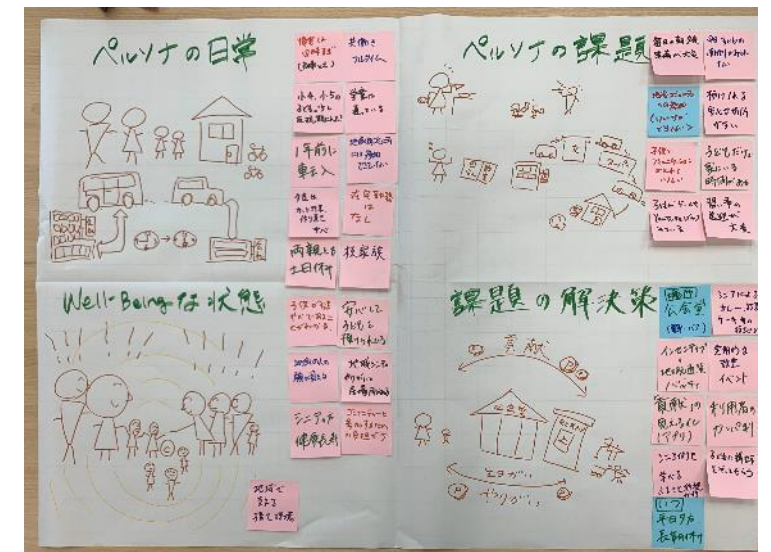
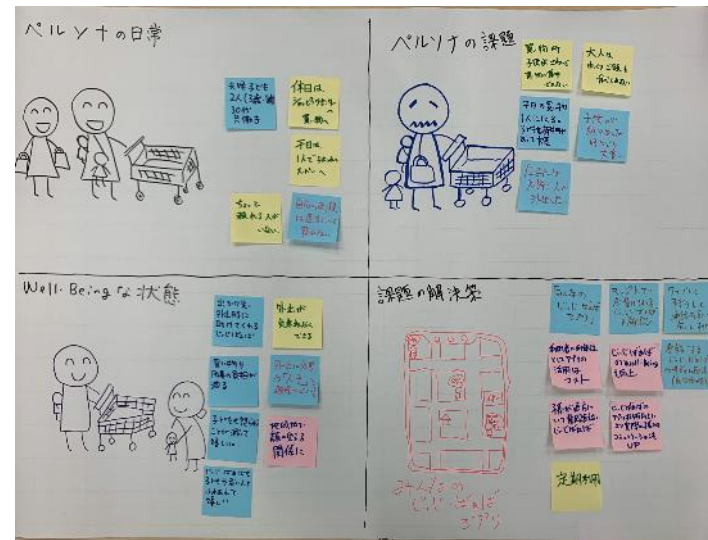
ストーリーボードを作成し、サービスを具体化

市民像：30-40代 子育て世代
主テーマ：自分時間の確保

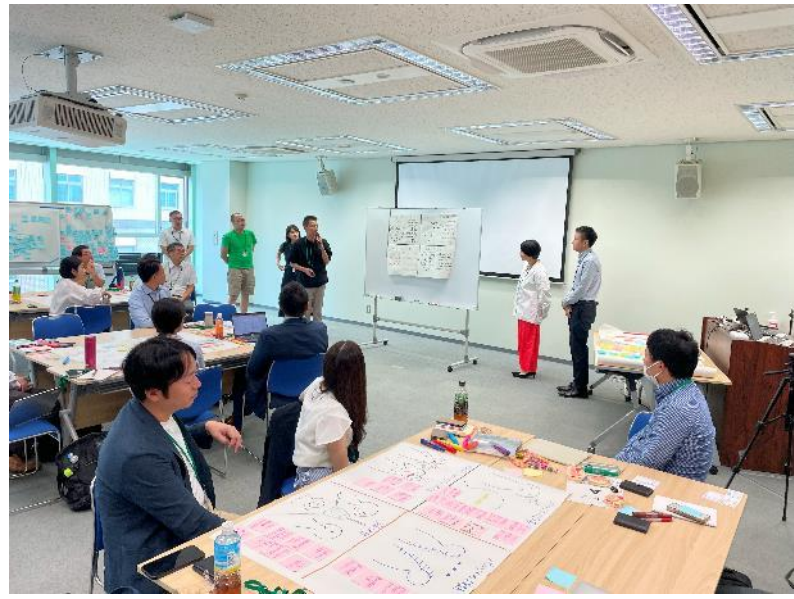
該当するKPI
①最近1か月の通勤距離平均
②毎週実行の運動習慣等
③オンラインで日用品(食料品、薬、洋服、靴等)の買い物をした
④ランニングを自分で始めた
⑤職場までの平均通勤時間
⑥人口あたり小車車走行キロ



<p>ペルソナの日常</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	<p>ペルソナの課題</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>
<p>Well-Beingな状態</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>	<p>課題の解決策</p> <div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>



浜松市モビリティサービス推進コンソーシアムでのWS開催（第2回：7/3）



Well-Being人材育成プログラム（OASIS）@浜松

OASIS @浜松 2023年5月22日 始動！

Well-Beingの概念や指標の測定方法を理解し、主観・客観の両データを活用することで、市民の幸福感や暮らしやすさの実感を高めるための政策をデザインできる人材を育成する。

■ 講師

浜松市フェロー 南雲岳彦氏

■ プログラム構成

全6回

■ 参加者

市職員（下記の所属長）

- ・ 企画課
- ・ デジタル・スマートシティ推進課
- ・ 財政課
- ・ 市民協働・地域政策課
- ・ 高齢者福祉課
- ・ 次世代育成課
- ・ スタートアップ推進課
- ・ 交通政策課
- ・ カーボンニュートラル推進事業本部
- ・ ウェル初推進事業本部
- ・ 天竜区振興課
- ・ 教育総務課



OASIS@浜松が全国の仲間と共に学ぶ場に！

<第2回OASIS@浜松 参加団体>

10団体・20名が参加

デジタル庁、山口県、千葉市、
静岡市、東広島市、下関市、
生駒市、磐田市、
（一財）しんきん経済研究所、
東京海上日動火災保険（株）



はままつWell-Beingアワード2023 創設！

Digital Smart City
HAMAMATSU

10月の浜松デジタル・スマートシティMONTHの一環として、今年度、**市民の幸福感向上に資する企業や団体の取組を表彰する「はままつWell-Beingアワード2023」を創設！**

<スケジュール>

- ・ 応募期間 2023年7月7日～9月1日
- ・ 結果発表、表彰式 2023年10月

■ はままつWell-Beingデザイン賞

浜松市民の幸福感向上に良い影響をもたらすことが期待される取組やサービスのうち優れたもの。

■ はままつWell-Beingインパクト賞

浜松市民の幸福感がどの程度向上するか、Well-Being指標や企業・団体独自の指標（アンケート等）を用いて測定されており、地域（浜松市）の幸福感向上への波及効果が認められる取組やサービスのうち優れたもの。



Well-BeingアワードHP

浜松市におけるWell-being指標活用の取組紹介



「浜松市Decidim」はみんなで意見を交換しながら、
より良いまちづくりを推進するための
デジタルプラットフォームです。

現在は「地域幸福度（Well-Being）指標の活用」を公開しています（「オンライン」は既に開始済み）。
当回はデジタル・スマートシティ市民連携プラットフォームをはじめ、市民意見収集等での活用を行います。

最新記事の内容を閲覧することができます。今後随時ご紹介します。 [詳細](#)

地域幸福度（Well-Being）指標の活用

まずは地域幸福度（Well-Being）指標とは何か知ろう！

[詳細を見る](#)



アクティブな参加プロセス



地域幸福度（Well-Being）指標の活用
アクティブプロセスはじめて



【実施済】Well-Beingを
考えるワークショップ
オンライン・オフラインワークショップ
開催

【Well-Being指標】の活用について

【Well-Beingとは】
地域幸福度（Well-Being）指標とは、地域の生活、経済、社会、文化、環境、健康などの様々な分野からなる指標です。

【Well-Being指標とは】
Well-being指標とは、地域の生活、経済、社会、文化、環境、健康などの様々な分野からなる指標です。

【浜松市の取り組み】

- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用
- 地域幸福度（Well-Being）指標の活用

【浜松市の取り組み】
地域幸福度（Well-Being）指標の活用

浜松市Decidim

<https://hamamatsu.makeour.city/>



モビリティ分野における「幸福感」の向上を 官民連携で考える！ Well-Beingなまちづくり ワークショップを開催しました

♡ 20

浜松市公式note
2023年6月30日 13:33

浜松市では、Well-Being（※1）を感じられるまちづくりを目指し、官民連携でデジタル・スマートシティを推進しています。

※1 Well-Being（ウェルビーイング） | 身体的・精神的・社会的に良好な状態を意味する言葉で、ひと言で表現すると「幸福感」を指す。

浜松市公式note

<https://hamamatsu-city.note.jp/>